



西牧野小だより

8・9
月
6号

枚方市立西牧野小学校通信

Tel 050-7102-9116

FAX 072-851-0035

令和8年8月25日

校長 青木 智充

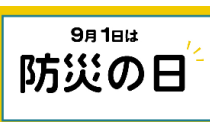


厳しい暑さが続いていますが、夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。日焼けした子どもたちの元気な声が学校に戻り、静かだった校舎に活気が満ちあふれています。

これもひとえに、保護者・地域の皆様が日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、子どもたちの安全を見守ってくださっているおかげです。おかげさまで、大きな事件・事故もなく無事に2学期を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

2学期は校外学習や修学旅行など、子どもたちが大きく成長する大切な行事が数多く予定されています。中でも、10月に予定されている運動会は、子どもたちにとって大きな目標となることでしょう。

今年度の運動会では、全学年が走競技・団体競技・団体演技の3種目に取り組むことになりました。ダンスは、自己表現の楽しさを感じ、一人ひとりが目標に向かって練習する過程を大切にする種目です。目標を達成できた喜びだけでなく、目標に向かって努力した過程そのものが、子どもたちを大きく成長させてくれます。保護者の皆様には、昨年度同様に、お子さんのありのままの姿を受け止め、温かく見守っていただきたいと願っております。他のお子さんと比較することなく、頑張った過程をたくさん褒めてあげてください。きっと子どもたちの自信につながることでしょう。



【お知らせ】9月1日は「防災の日」— ご家庭でも避難の話し合いを —

9月1日は「防災の日」です。枚方市では「防災教育の日」と定め、全校校園一斉に防災教育を実施することにより、防災意識を高めています。本校でも9月1日（火）には地震の避難訓練を行います。

また、「大阪880万人訓練」は9月1日（火）10時に実施される予定です。災害が起こった場合にまず「命を守る」にはどう行動すればいいのか



を、しっかり考えて準備しておきましょう。この機会にご家庭でも万一の場合に備えて、大災害時の集会所や連絡方法など、お子さんと話し合ってみてください。

●行事や努力の体験を成長につなげる「学習転移」とは？

2学期は運動会をはじめ、行事や学習など子どもたちが大きく成長するチャンスに溢れています。しかし、せっかく運動会や日常の学習で頑張っても、それが「その場限り」で終わってしまう子と、そこで得た学びを別の場面でも発揮して成長し続ける子がいます。

教育学では、ある場面で学んだ努力や工夫が、別の場面でも応用・発揮されることを「学習転移」と呼びます。行事での頑張りを単なる「思い出（体験）」のままで終わらせず、「学び」に高めて自己成長へ繋げる鍵は「振り返り（言語化）」にあります。

【「体験」から「成長」への4段階】

- ① 体験：生の出来事。ただそこに居合わせた状態（例：ダンスの振り付けがうまく踊れず悔しかった）
- ② 経験：体験を振り返り、内面化した状態（「なぜうまくいかなかったのか」を言葉にする）
- ③ 学び：経験を教訓として抽象化した状態（「手本をしっかりと見ることが大切だ」と気づく）
- ④ 自己成長（＝学習転移）：学びを次の行動や別の場面に活かす状態（「授業や習い事でも手本をよく見よう」）

振り返りは自然に身につくものではありません。ご家庭が最初の「振り返りジム」となり、保護者の皆様の温かい問いかけを通じて、子どもの振り返る力を育てていきましょう。

家庭で実践！子どもの振り返りを深める「問いの5段階」

「今日学校どうだった？」「ふつう」で終わってしまうのは、問いが大雑把すぎるためです。夕食時などに次の5つの問いを意識してみてください。

- 1. 出来事の問い：「今日、何があった？」（事実の確認）
- 2. 気持ちの問い：「そのとき、どんな気持ちだった？」（感情の受け止め）
- 3. 理由の問い：「どうしてそうなったんだと思う？」（原因をともに考える）
- 4. 教訓の問い：「そこから、わかったことって何かある？」（教訓を引き出す）
- 5. 転移の問い（最重要！）：「それって、他のどんなときにも使えそうかな？」

★ ここが決定的なポイント！

「ダンスで繰り返し練習したら上手になった」で終わらず、「その繰り返し練習するコツって、漢字の練習や宿題のときにも使えそうだね」と広げてあげること、初めて学習転移が始まります。

【お願い】「詰問」ではなく「一緒に考える姿勢」で

「なんでできなかったの？」という問い詰めは、子どもを黙らせてしまいます。「どうすればよかったかな」と、保護者の方も一緒に考える姿勢で問いかけてあげてください。振り返りは裁く時間ではなく、心を耕す時間です。

朝の一言で変わる！「見通し」と「振り返り」のセット（AARサイクル）

夜の振り返りがうまくいかない場合は、朝の「見通し」が効果的です（OECD 提唱：AAR サイクル）。

- 1. Anticipation(見通し)（朝）：朝に狙いを定める
- 2. Action(行動)（昼）：学校や行事で動く
- 3. Reflection(振り返り)（夜）：家庭で確かめ合う

朝、登校前に「今日は何を頑張ってみる？」と一言かけるだけで、子どもの頭の中に「今日はここをみておこう」という意識のアンテナが立ちます。アンテナがあることで出来事が記憶に留まり、夜に「今日の頑張ってみるはどうだった？」と聞いたとき、驚くほど具体的に振り返ることができるようになります。

実り豊かな2学期にするために、今までどおり手洗い、換気など感染防止と熱中症には十分注意して、元気に学校生活を送りましょう。2学期も、子どもたちの健やかな成長のために教職員一同、力を尽くしてまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。